

## 32. くん煙法（自燃くん煙）

・殺菌剤

FRAC コード	作物名	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
2	きゅうり	ロブラールくん煙剤	くん煙	収穫前日まで	4回以内	

・殺菌剤（参考農薬）

FRAC コード	作物名	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
2	トマト	ロブラールくん煙剤	くん煙	収穫前日まで	3回以内	
	ミニトマト					
9	きゅうり	フルピカくん煙剤	くん煙(通常 10 ～15 時間)	収穫前日まで	4回以内	
9	いちご	フルピカくん煙剤	くん煙(通常 10 ～15 時間)	収穫前日まで	3回以内	

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。

注3) 蚕毒・魚毒については、「34. 野菜類の総括注意」も参照する。

作物名	薬剤名	対象病虫害	使用量	注意事項
トマト ミニトマト	[参考農薬] ロブラール くん煙剤	菌核病 灰色かび病	くん煙室容積 300～ 400 m <sup>3</sup> (高さ 2m、床面 積 150～200 m <sup>2</sup> ) 当り 100g(50 g×2 個)	1. 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本 剤を連用しない。 2. 定植直後や幼苗、軟弱苗などの草 勢の弱っている時は、薬害を生じ る恐れがあるので使用しない。 3. 作物がハウスの天井に触れる位に 大きくなっている場合は、上方にた まった濃煙に触れる部分に薬害を 生じる恐れがあるので、使用しな い。
きゅうり	ロブラール くん煙剤	灰色かび病 菌核病	くん煙室容積 300～ 400 m <sup>3</sup> (高さ 2m、床面 積 150～200 m <sup>2</sup> ) 当り 100g(50 g×2 個)	1. トマト、ミニトマトの項に準ずる。
	[参考農薬] フルピカ くん煙剤	灰色かび病	くん煙容積 500 m <sup>3</sup> (高 さ 2m、床面積 250 m <sup>2</sup> ) 当り 50 g(1 錠)	1. 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本 剤を連用しない。
いちご	[参考農薬] フルピカ くん煙剤	灰色かび病 うどんこ病	くん煙容積 500 m <sup>3</sup> (床 面積 250 m <sup>2</sup> ×高さ 2 m) 当り 50 g(1 錠)	1. 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本 剤を連用しない。

## 【くん煙消毒上の注意】

- (1) くん煙を行う時は、ハウス内に隙間風が入らないように破損箇所を補修し、換気扇を止めてから行う。
- (2) ハウス内の温度が 30℃以上の高温の時は、日中を避け、できるだけ夕方に処理して、翌朝に開放するようにし、その間はハウス内に入らない。
- (3) 作業の都合でハウスの間口や天窓を開放する必要がある場合は、くん煙後最低 2 時間経ってからにする。
- (4) 風の強い日は、煙が片寄る心配もあるので使用を避ける。
- (5) くん煙中はハウスに入らないようにし、薬剤でカブレやすい人は管理作業を行う前に必ず保護クリームを塗る。
- (6) 噴煙が直接作物にかからないようにする。また設置場所の火災に注意する。
- (7) 他剤との同時くん煙は避ける。

## 33. 常温煙霧法

・殺菌剤（参考農薬）

FRAC コード	作物名	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
1	トマト	ベンレート水和剤	常温煙霧	収穫前日まで	5 回以内	

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決めているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。

注3) 蚕毒・魚毒については、「34. 野菜類の総括注意」も参照する

作物名	薬剤名	対象病虫害	使用量 (10a 当たり)	注意事項
トマト	〔参考農薬〕 ベンレート水和剤	灰色かび病	薬剤 150 g 水 5 ℓ	1. 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧する。 2. 防除効果が低い場合は、耐性菌の発生が疑われるので、他系統の散布剤による防除に切り替える。

## 【常温煙霧消毒上の注意】

- (1) 常温煙霧装置の選定、使用に当っては病虫害防除所、農業農村支援センター等の関係機関の指導を受ける。
- (2) 常温煙霧機の吹出し口付近では、ビニール等で作物を覆い、直接薬液がかからないようにする。
- (3) 作業はできるだけ夕刻に行い、作業終了後 6 時間以上密閉する。